

医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご理解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【研究課題】

ICU で早期経腸栄養を行った患者に対する、ICU 退室後の NST 介入の実態と介入患者像の検証

【研究計画の概要】

○目的

集中治療室(ICU)における早期経腸栄養は重症患者の栄養管理において重要な役割を担っています。一方で、早期経腸栄養を実施した患者の中には、低栄養や食事摂取不良等の課題により栄養サポートチーム(NST)介入を必要とする症例が存在します。本研究は、ICU において早期経腸栄養を実施した患者を対象とし、ICU 退室後の NST 介入の現状を把握するとともに、NST 介入群と非介入群の患者背景、栄養状態および重症度等を比較し、NST 介入を要した患者の特徴を明らかにすることを目的としています。

○研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 8 月 31 日

(調査対象期間 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

○対象となる方

2025 年 4 月から 2026 年 3 月に当院 ICU へ入室し、早期栄養介入管理加算を算定した患者様のうち、入室後 48 時間以内に経腸栄養を開始した患者様を対象とします。

○研究に利用する試料、情報

診療録(カルテ):研究対象患者情報(匿名化した ID、年齢、性別、身長、体重、BMI、入院の主病名、入院した診療科、栄養投与量等)。

○倫理的事項

本研究の実施にあたり、患者様(被験者)への新たな負担はありません。

診療情報は連結可能匿名化し、匿名化の対応表、診療情報は USB 等に保存の上、施錠のあるキャビネット内に保管します。研究結果は国内、国外の学会、論文で発表します。公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、被検者の個人情報は一切公表しません。研究発表以降は、匿名化対応表を破棄し、連結不可能匿名化した形で研究責任者が保存します。

○その他

被験者が研究に参加することによる新たな費用は発生せず、また謝金なども発生しません。

【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 内分泌代謝・糖尿病内科

研究責任者: 伊藤 惇

電話:029-231-2371(代)